

半日陰で元気に咲く初夏の花。

<植物名>

ミムルス
ミツカクシ

水やり

湿気を好むため、土が乾ききる前にまめに水を与える。

置き場所

半日陰と湿気の多い用土を好む。

用土肥料

培養土は腐葉土を多くし、緩効性肥料を忘れずに。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

特記事項なし。

使い方 花壇、鉢植え、ハンギングバスケット

学名 Mimulus

英名

属名 ミソホオズキ

科名 ゴマノハグサ

性状(分類) 多年草

原産地 北アメリカ

花の色 赤 ピンク、橙 黄

開花期 5～8月

購入時期

草丈 15～30cm

ID 382

季節 春 夏

JFコード 22694



冬越しと置き場所

乾燥や高温に強く、半日陰と湿気の多い用土を好む。

その他の解説

培養土は腐葉土を多くし、緩効性肥料を忘れずに。花後切り戻して追肥すると、また花が咲く。

特徴1

サルの顔に似た形の花。湿気を好むため、土が乾ききる前にまめに水を与えることが必要。2～3日に一度は鉢ごと水に浸すと良い。

特徴2

ミムルスとは、花の形がサルの顔に似ていることに由来している。花色が鮮やかで、ハンギングバスケットを作るととても見事。枝が横に伸びていくため、バランスの良い株にするには枝分かれするように切り詰める必要がある。花がら摘みを怠ると、次の花がなかなか咲かず病気になるりやすいため、花壇より手入れしやすい小面積向き。